

センター通信

2025年12月号(513号)

守山市地域総合センター

守山市矢島町3091番地

電話・有線 585-4822

FAX 585-5254

「第69回滋賀県人権教育研究大会」

高島大会

昨年、第68回大会を守山市で開催した滋賀県人権教育研究大会が11月15・16日の2日間高島市で開催されました。

【テーマ】差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう

【現地大会テーマ】心と心をつむぎあい みんなでつくる みんなの幸せ

～一人ひとりが良知を磨き 自分事として知り 行動する～

1日目の高島市民会館での全体会では、近江聖人と称えられる陽明学者 中江藤樹（高島生誕地）の教えである

「致良知」「五事をただす」を教育活動の柱として取り組まれている高島市立青柳小学校長越智弘子さんの特別報告を聴きました。「地域の先人の教え『致良知』から学ぶ人権」というテーマで、子どもから高齢の方まで、中江藤樹の教えが今も誰もが中江藤樹先生と呼ぶほどに定着し、その教えを実践しようとする思いを感じることができました。



記念講演では「子ども達の『今』の幸せを大切に～硬直したマインドセットをリセットしよう！～」をテーマに、元世田谷区立桜ヶ丘中学校長の西郷孝彦さんの力のあるお話を聴きました。いろいろな圧力や決めつけを無くし楽しく過ごしやすい学校環境づくり・教育を実践されてきました。「校則をなくした中学校」の著書にあるように、「制服・定期テストの廃止」や遅刻をつけないなどの取り組みやその成果に、いつものルールや決まりを当たり前にしてきた教育実践を振り返る機会になりました。

2日目は、高島市内の会場に分散して、26の分科会に分かれての参加となりました。それぞれの分科会では、3本のレポートが提案され、質疑応答・討議と参加者が積極的に発表し、人権問題・部落差別解消に向けた教育について熱い意見交流がされました。分科会には、守山市からも物部幼稚園、守山南中学校、河西小学校、速野小学校、そして地域総合センターがレポート提案をしました。参加者の皆さんのが熱い思いを、来年の長浜大会まで持ち続けたいと思います。

「盲導犬ペリーと出会おう！」

立入が丘幼稚園

11月12日に盲導犬ペリーと盲導犬ユーザーの前田真里さんと一緒に立入が丘幼稚園を訪問しました。

日ごろ見かけることのない盲導犬と出会うことを楽しみに、元気な子ども達と保護者の皆さんが待っていてくれました。盲導犬の役割や、前田さんとペリーとの生活などを説明され、実際にハーネスを外した時と装着した時の違いなどを見せていただき、仕事をしている盲導犬に「触らない」「呼ばない」「お菓子をあげない」などを学ぶことができました。最後に、年長クラスの子ども達から歌のプレゼントもありました。



「認知症の人と共に生きるまちをめざして 人権講座第8講座 ～今、私たちにできること～」

11月8日（土）の人権講座は、中部地区地域包括支援センター所長の山口勉さんにお越しいただき、認知症サポーター養成講座としてご講演いただきました。

認知症について説明をいただき、どのように対応したらよいのか、認知症の人に対して何ができるのかを教えていただきました。家族が認知症になった時にどのように感じ、どのように対応したらよいのかなどについて学ぶための映画も視聴しました。認知症は高齢者の問題で他人事のように思われてしまうことがあります、認知症は年齢に関係なく発症することや家族を傷付けてしまうことなどを学習することができました。

講座に参加された方には、認知症サポーター養成講座を受けた証であるオレンジリングが渡されました。

【参加者の声】「認知症」という言葉は知っていても、考えたり、理解したりしようとはしてこなかった。認知症の方、家族の方、それぞれの思いや気持ちを正しく知って理解していくことが必要だと学んだ。すべてを知る事は難しいだろうが他人事とせず、何事も知ろうとする気持ちが大切だと感じた。



「子どもたちが夢を描くために」

人権講座第9講座 村田 和哉さん



守山市出身の元Jリーガー村田和哉さんにお越しいただき「夢」をテーマにお話を聴かせていただきました。今回は、玉津小学校PTAふれあい人権学習会との共催で、玉津小学校4・5・6年生児童、PTA保護者、一般の方も含めて約200人が参加しました。

開会前から子どもたちとリフティングをされ、活動的な雰囲気でスタートしました。「夢は叶うもの」であり、子どもの頃から書かれている「夢ノート」の存在、そこから生まれる希望と活力で何事も楽しく前向きに頑張れる。挫折や失敗もあるが、諦めなければ夢は叶うことを力強く語られました。「夢ノート」を作って、そこに自分の夢を書くことが宿題になりました。

また、「夢は人をつなぐ」ものであり、人とのつながりが次の出会いになることの楽しさや面白さを聴かせていただきました。この講演後、静岡県伊豆市まで移動されて講演されるとのことでしたが、伊豆市とのつながりも夢が叶えてくれたものだそうです。

子どもたちが退席した後、保護者を対象に、「子どもたちに夢を語ってください」「夢は叶うもの」「夢は人をつなぐもの」そして「人生は、いい方向にしか進まない」とお話をされました。

サプライズとして村田さんから、玉津小学校にサイン入りのサッカーボールが贈られました。

【クイズその9】クイズその8の答えは、「福号」でした。比叡山坂本ケーブルは福号と縁号の2台が日吉大社から延暦寺までを動いています。正解者は、中西和子さんでした。

クイズその9です。右の写真は丹後半島で有名な漁村・湾の風景です。NHK連続テレビ小説の撮影地にもなっています。湾を取り囲むように家屋が建っており舟の倉庫・作業場が並んでいます。湾内には遊覧船もあり、観光客が投げたかっぱえびせんをカモメが上手くキャッチします。この場所もオーバーツーリズム問題があると新聞に記事が掲載されました。この地名をお答えください。わかった方は、地域総合センター担当古川まで。



人権講座第10講座

◆「食文化を通じて、人権について学ぼう」

◆講師：じぶんProjectしが 前田 耕平さん

◆日時：2025年12月20日(土)午前10時～午前11時30分

◆場所：地域総合センター 会議室

「さいぼし」や「アブラカス」などの被差別部落との関わりのある食文化を通じて、部落差別問題をはじめとした人権について語っていただきます。実際に食していただく都合で食材費を徴収させていただきます。

*事前申込は不要ですが、参加費300円を、当日受付で集金させていただきます。

子育て講座第3講座



◆「食べる喜びを感じられる子に」

◆講師：栄養士 長岡 由里子さん

◆日時：2025年12月3日(水)午後1時30分～午後3時

◆場所：地域総合センター 研修室

生きるためのエネルギーの源になる食べ物、食育の視点からの子育てについて、栄養士の長岡先生にご講演いただきます。

*事前申込・参加費は不要です。ただし、講演会中の赤ちゃんの託児を希望の方は、事前申込(585-4822)を12月1日までにお願いします。

（県民のつどい）開催されます。

「人権尊重と部落解放をめざす県民のつどい」が米原市にある滋賀県立文化産業交流館で12月7日（日）に開催されます。

滋賀県人権センター50周年記念特別企画として映画「蓮如とその母」の上映が午前中上映されます。

午後は、中学生の人権作文の発表の後、記念講演として「『はて？』を投げかけ、透明化された人たちを描く～みんなが翼を得られる社会へ～」の演題で、連続テレビ小説「虎に翼」の脚本執筆を手掛けられた吉田恵里香さんが講演されます。

日 時：2025年12月7日（日）10:00～15:15（9:30受付）

場 所：県立文化産業交流会館（米原市）*駐車場有、JR米原駅西口より500mです。



12月 行事（地域総合センター・児童センター）

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月	なかよしひろば(りす)・自由遊びの日 PM 中学生自主活動学級	16	火	自由遊びの日
2	火	自由遊びの日	17	水	おやこひろば・自由遊びの日 PM
3	水	おやこひろば・子育て講座第3講座	18	木	自由遊びの日
4	木	幼児クラブ（いちご）・自由遊びの日 PM 人権週間（4日～10日）	19	金	自由遊びの日
5	金	幼児クラブ（もも）・自由遊びの日 PM 小学生自主活動学級	20	土	自由遊びの日 人権講座第10講座
6	土	自由遊びの日	21	日	
7	日	人権尊重と部落解放をめざす 「県民のつどい」米原・県立文産会館	22	月	自由遊びの日 中学生自主活動学級（閉講式）
8	月	なかよしひろば（うさぎ） 自由遊びの日 PM	23	火	自由遊びの日
9	火	自由遊びの日	24	水	冬休みクラブ
10	水	おやこひろば・自由遊びの日 PM 世界人権デー（世界人権宣言採択日）	25	木	自由遊びの日
11	木	幼児クラブ（いちご）・自由遊びの日 PM	26	金	自由遊びの日
12	金	幼児クラブ（もも）	27	土	自由遊びの日
13	土	自由遊びの日	28	日	年末年始閉庁期間
14	日		29	月	
15	月		30	火	
*	*	*	*	*	
			31	水	

「レンズ越しに見守る子どもの成長」

子育て講座第2講座

リバース代表 河野剛氏さん

フォトスタジオ「リバース」代表でフォトグラファーの河野剛氏さんに子育て講座第2講座に来ていただきました。河野さんは、市内こども園や幼稚園と写真撮影業務提携されています。

「良い写真とは？」の問いに、構図がよくて、ピントがあついて、光がきれいで高いカメラやレンズで撮影された写真と答えてしまいがちですが、「人を幸せにしてくれる写真」こそが「良い写真」

です。1枚の写真を見ることで、誰に撮ってもらったのか、背景にあるものは何か、写っていないところに誰がいたのかなど思い出があふれ出て自分の存在感を確かめられる写真について、河野さんが撮影された写真を見せてもらいながらお話をいただきました。写真撮影を依頼された方の写真に込められた思いなども聞かせていただきました。



写真は人を幸せにする
嬉しいとき 悲しいとき
喜れるの日 も酉の日も
我が残してくれた私たちが知る
愛情のカタチとして残る記録
親元を離れて過ごした日々
仕事で失敗をして落ち込んだとき
どんなに辛いことがあつても
いつも私の背後になってくれる
大切なものの写真になってくれる
写真は、愛を伝えるカタチであり
未来に生きる人を幸せに導くもの
写真は、人を幸せにする

写真は人を幸せにする